



「心」伝えていますか。「心」届いていますか。
 「心」込めてますか。「心」受け入れてますか。
 「心」を大切にあなたへ贈ります。
 一関のおもてなし。

一関のおもてなし

12月の目次 *Menu*

- 02 **シリーズ駅**
大船渡線「真滝駅」
- 03 **「(愛)な人 いちのせきを愛する人**
原田良一さん 「レストランあさひや」オーナーシェフ
- 04 **COVER STORY**
白澤剛一さん いわいの里ガイドの会会長
- 05 **特集**
一関のおもてなし
Pick Up
18 水に懸けた男たちの美学
一関高専水泳部ウォーターボーイズ2012
- 20 **まちのトピックス**
一関文化センターで「一関地方児童生徒音楽発表会」/花泉高校で勝部市長が「特別授業」/大東・日大生物資源科学部「藤桜祭」に特産品出品/千厩・小梨小学校教育講演会「親子でエアロビin小梨」/東山で「子どもたちの体力づくり講座/室根で「産業文化祭」、多彩なイベントが目白押し/川崎中で「創立50周年記念コンサート」/藤沢・縄文ホールで「素人演芸会」
- 22 **市民の広場**
笑顔でGood(佐藤日出香) / キッズ写真館/ふれーふれークラブ(山目中) / ウチのこ自慢/図書館日より
- 24 **12月の健康コーナー**
健康情報/健康塾(木村義人) / 元気のひみつ(小野寺洋子)
- 26 **12月のお知らせ**
博物館日より/一関文化センター催し物案内/掲示板/市営住宅など入居案内/募集/催し/講座/相談/お知らせ
- 32 **Pick Up**
藤沢・縄文ホールで「地域医療市民フォーラム」
- 33 **百年目の寿**
菊池チヨノさん/千葉クニヲさん/千葉さかゑさん
- 34 **NEWS HOTLINE**
「むかさり行列」が華やかに行進/鮮やか、軽快、大迫力、感動のマーチング&コンサート/生産者の意欲向上を目的に一関地方農林業振興大会開催
- 35 **岩手一関の手**
書道家・刻字家 菅原幹夫さん
- 36 **わたしの夢**
藤原梨瑚さん 曾慶小6年

COVER STORY

一期一会の気持ちで訪れる人を迎えています

三関の白澤剛一さんは、一関地方の史跡や名勝などをボランティアで案内する「いわいの里ガイドの会」の会長。主に、骨寺村荘園遺跡や市内観光地に訪れるお客さんにガイドダンスします。

「形がない空気感をどう説明するか。そこが難しくもあり大事なところ」と知識だけでなく話術も重要と言います。最近では、世界遺産登録に伴い平泉に応援に向かうことも多くなりました。

「一期一会の精神でお客さんを迎えています」と剛一さん。「どうやって気持ちを伝えるか、どうやって引き込むか、それがおもてなしなんだと思います」とも。

「街の顔」としての誇りを胸に、今日も自然体でもてなします。

(関連 特集「一関のおもてなし」)

岩手県一関市
Ichinoseki City

東北のほぼ中心、盛岡市と仙台市の中間にある一関市は古くから岩手県南、宮城県北エリアの中核を担ってきました。2005年9月20日に一関市、花泉町、大東町、千厩町、東山町、室根村、川崎村の7市町村が合併。11年9月26日には藤沢町と合併し、「人と人、地域と地域が結び合い、未来輝く いちのせき」を目指して確かな歩みを進めています。



DATA

■面積 1,256.25k m² ■人口 127,681人(男61,678人、女66,003人) ■世帯数 46,018戸 ■市花 なのはな ■市木 ぶな ■市鳥 うぐいす(以上2012年11月1日現在)

広報いちのせき

いちのせきスタイル
 2012年12月1日号
 No.173



I-Style(いちのせきスタイル)は、岩手県一関市が発行する広報誌です。中東北の拠点都市を目指して独自のスタイルで前進する誇り高いいちのせき(Ichinoseki)のインプレッション(Impression=感動)、インテリジェンス(Intelligence=知的情報)とインフォメーション(Information=お知らせ)を伝え、古里の魅力を、価値を、エネルギーを発信する情報誌です。12月1日号の印刷経費は1部32円です。本誌は一関市のホームページでもご覧になれます。旬な情報を画面上でもお楽しみください。一関市ホームページ <http://www.city.ichinoseki.iwate.jp>